3月1日～3月8日は、「女性の健康週間」です。

なりたい自分をデザインする
丸の内キャリア塾
Marunouchi Career Academy

×

for women's health
公益社団法人日本産科婦人科学会・公益社団法人日本産婦人科医会
女性の健康週間
産婦人科医は、女性を守り続けます。
― 生涯主治医がいる安心を ―

開催概要
プログラム
のご案内

2022年 女性の健康週間 丸の内キャリア塾 スペシャルセミナー

今こそ学ぼう リプロダクティブヘルス&ライツ

～自分の健康（人生）は、もっと自分で決められる!～

仕事に、家庭に、プライベートに…と頑張る日々。カラダのことは考えていますか?
女性特有の不調や疾患をそのままにせずに、もっと自分らしく過ごすために
今からできる“女性のカラダ”のとっておきの役に立つ情報をお伝えします!

オンラインライブ配信（無料）

事前登録制
※どなたでも
ご視聴いただけます。

申込締切
2月22日（火）

日時: 2022年 3月 1 日（火）18:00～20:30

お申込みサイトはこちら ➡ https://events.nikkei.co.jp/45155/

【オープニングセッション】
リプロダクティブヘルス総論
18:00～18:25

SRHRを知っている? 日本の憂うべき現状について

弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学講座
教授　**横山 良仁** 先生

【セッション①】
不妊治療
18:25～18:50

妊活と不妊治療とキャリア、どう考えるか

医療法人社団愛慈会
松本レディースリプロダクションオフィス　理事長　**松本 玲央奈** 先生

【セッション②】
子宮内膜症
18:50～19:15

子宮内膜症とうまく付き合う方法教えます!

東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座
准教授　**甲賀 かをり** 先生

【セッション③】
更年期
19:15～19:40

人生100年時代で女性が輝き続ける未来へ
～やる気!元気!更年期!～

よしかた産婦人科　院長 /
横浜市立大学産婦人科　客員准教授　**善方 裕美** 先生

【セッション④】
女性のキャリア形成と健康
19:40～20:05

女性が主体的に考えるキャリア形成とからだの健康

藤沢女性のクリニックもんま
院長　**門間 美佳** 先生

20:05～20:30　**質疑応答セッション**

※プログラムは変更する可能性がございます。

主　　催：日本経済新聞社 メディアビジネス イベント・企画ユニット
共　　催：公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会
広告協賛：フェリング・ファーマ株式会社、あすか製薬株式会社、富士製薬工業株式会社、バイエル薬品株式会社

後援
厚生労働省、内閣府、日本医師会、日本栄養士会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本助産師会、日本薬剤師会、日本学校保健会、全日本私立幼稚園PTA連合会、日本周産期・新生児医学会、日本女性医学学会、日本生殖医学会、日本婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本産婦人科乳腺医学会、日本思春期学会、日本女性心身医学会、日本糖尿病・妊娠学会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本妊娠高血圧学会、日本婦人科がん検診学会、日本母性衛生学会、日本卵子学会、日本エンドメトリオーシス学会、日本産婦人科手術学会、日本受精着床学会、日本生殖免疫学会、日本母体胎児医学会、国連人口基金駐日事務所

3月1日～3月8日は、「女性の健康週間」です。

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会は、産婦人科医が女性の健康を生涯にわたって総合的に支援することを目指し、3月3日ひな祭りを中心に、3月8日国際女性の日までの8日間を「女性の健康週間」と定め、2005年にその活動を開始しました。2008年からは、厚生労働省も主唱する国民運動として、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、国や地方公共団体、関連団体が一体となり、さまざまな活動を展開しています。

ご挨拶

私たちは女性が健康に活躍できる社会を目指して女性の健康週間を定め、「丸の内キャリア塾」を毎年開催しています。今年のテーマの中心は「リプロダクティブヘルス&ライツ」です。これは女性も男性も自分の性と妊娠・出産・子育てなどに関して、自己決定を行い、できる限りの健康を享受することができる、という考え方です。女性が自らのキャリアを高めながら月経や更年期に関するつらい問題を解決し、子供を持つか持たないか、持つならいつ何人持つか、などを主体的に安心して決めることができる、女性が輝く社会が私たちの目標です。そのために女性の皆さんに知ってほしいことがたくさんあります。皆さんこの塾で女性の体と心に関する大切な知識を増やして下さい。

日本産科婦人科学会 理事長 **木村 正**

女性の一生は、女性ホルモンの分泌に始まる思春期から、排卵そして月経が確立する長い性の成熟期を経て、更年期を迎え、そして閉経期に至ります。このような年代ごとの心身の変化をみても、女性の皆様は、良きにつけ悪しきにつけ、女性ホルモンに大きく影響される一生なのです。女性の優しい美しい皮膚の輝きは女性ホルモンによるものです。しかし、思いがけなく月経痛が強く、経血量も多くなる子宮内膜症・子宮腺筋症や子宮筋腫も女性ホルモンのせいです。そして、卵巣の働きが終わりごろになると、閉経となり、女性ホルモンが不足するために起こる更年期障害を感じる人も出てきます。お仕事をしている皆様は、心身ともに快適な日々を過ごしたいと考えていることでしょう。今日は、子宮筋腫と更年期のお話を聞いてもらい、正しい知識を得て、安心して対処してください。私どもは、女性の皆様の永遠の応援団として支援したいと考えています。

日本産婦人科医会 会長 **木下 勝之**

講師プロフィール

横山 良仁 先生
弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学講座
教授

日本産科婦人科学会はセクシュアルリプロダクティブヘルス&ライツ（SRHR）の普及推進宣言をしました。しかしSRHRの概念を理解していない産婦人科医師が多いことも事実です。ジェンダー平等を謳うSRHRを理解することは本当の産婦人科医師になるための必須の知識として普及に努めています。

松本 玲央奈 先生
医療法人社団愛慈会
松本レディースリプロダクションオフィス
理事長

医学博士・産科婦人科学会専門医・指導医・生殖医療専門医。東京大学産婦人科学教室大学院で着床の研究に従事。国内外の学会にて着床に関する研究で受賞多数。現在松本レディースリプロダクションオフィス理事長。良質なフェムテック推進を目的とした、一般社団法人メディカルフェムテック・コンソーシアム代表理事

甲賀 かをり 先生
東京大学大学院医学系研究科
産婦人科学講座　准教授

東大病院にて日本で初めて子宮内膜症の専門外来を立ち上げ、ホルモン治療、内視鏡手術、不妊治療にたずさわる。女性の健康リテラシー向上のため、学生や一般市民を対象とした講演、執筆なども精力的に行っている。

善方 裕美 先生
よしかた産婦人科　院長 /
横浜市立大学産婦人科　客員准教授

約30年にわたり多くの悩める更年期女性と向き合い、カウンセリング、ホルモン補充療法、漢方薬、代替医療など多方面のアプローチで治療をおこなう。NHK健康チャンネルの出演や著書「だって更年期なんだも～ん治療編」（主婦の友社）などで更年期診療の認知を広める活動もしている。

門間 美佳 先生
藤沢女性のクリニックもんま
院長

女子学院高校卒、山梨大学医学部卒業後、国保旭中央病院、湘南鎌倉総合病院、女性医療クリニック元町LUNAなどで研鑽をつみ、2019年藤沢女性のクリニックもんまを開設。開業当初から若者の相談場所としてユースクリニックを併設。2021年7月からはだれでも気軽に立ち寄れるオープンユースクリニックを始め、思春期相談、若者の健康啓発に力を入れている。

お問合わせ
「丸の内キャリア塾 スペシャルセミナー」事務局（株）日経イベント・プロ内
E-mail:marunouchi@nex.nikkei.co.jp